

NRC サステナ通信

発行：株式会社日本リサーチセンター
マーケティング事業開発部

日本のジェンダーギャップはなくなるらない？

ごあいさつ

みなさま、こんにちは。
日本リサーチセンター
「NRC サステナ通信」担当
です。

私たちは、高度経済成長期
真っ只中の1960年代から、
マーケティングリサーチや
世論調査、広報物制作を主
な事業としてきました。

右肩上がりの経済の時代、
特にマーケティングの世界で
は、「いかに売れるか・儲かる
か」が最重要のモノサシで
した。

しかし、低成長の時代を
経て、今はサステナブルへと
空気感が変わってきていま
す。

人々の価値観も直線的な
ものから、より多様なもの
へ。そんな肌感覚を「NRCサ
ステナ通信」を通じてみなさ
まと共有し、「持続可能な社
会」「社会に役立つビジネス」
へのヒントになるような取り
組みを進めたいと思っています。

今回は、「ジェンダーギャ
ップ・男女間の格差」をテーマ
にお届けします。

日本は長年にわたり、男女間の格差問題に直面してきました。
特に、女性が結婚・出産を機に仕事から離れることが多く、男女間
の賃金格差や管理職への昇進率などに大きな差が生じています。
毎年、世界経済フォーラムという国際機関では、「ジェンダーギャ
ップ指数」の各国の順位を発表しています。

これは、各国の男女格差を「経済・教育・健康・政治」の4つの分野
で、ジェンダー平等の達成度を評価するものですが、昨年(2022
年)の日本は世界146か国中116位、さらに今年(2023年)は
125位と過去最低となってしまいました…。

この順位、みなさんはどのように思いますか？

SDGs達成度ランキングでも、ジェンダーギャップが課題に

国際的な研究組織「持続可能な開発ソリュー
ション・ネットワーク」(SDSN) が毎年発表して
いる「Sustainable Development Re-
port」では、世界各国でのSDGs達成状況をラ
ンキング形式で発表しています。

日本は2017年には11位でしたが、年々順位
が下がり、2022年は19位となっています。

SDGsの17の目標の中での「5 ジェンダー平
等を実現しよう」は、取り組みが進みつつあるも
の、まだ解決すべき課題が残っているとされ
ています。

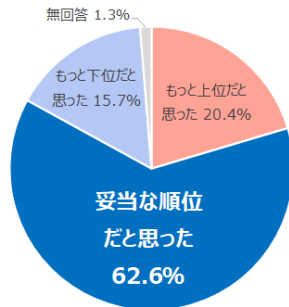
発表年	日本の順位
2016年	18位
2017年	11位
2018年	15位
2019年	15位
2020年	17位
2021年	18位
2022年	19位 ↓

日本の「116位」は高い？低い？

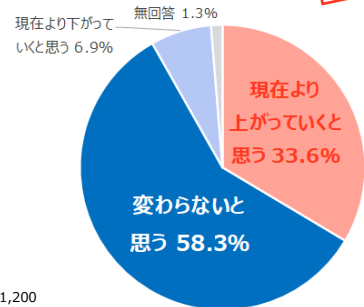
冒頭でご紹介した「ジェンダーギャップ指数」について、今年4月、一般生活者1,200名を対象に調査を行いました。

調査時直近(2022年)の順位(日本は146か国中116位)について、「妥当な順位だと思った」人は6割強に達します。日本の現状に対して冷静に見ているともいえます。一方で、「もっと上位だと思った」と回答した人も2割ほどいて、認識に差がありそうです。

「ジェンダーギャップ指数」2022年の日本の順位(146か国中116位)をどう思う？



「ジェンダーギャップ指数」今後5年間で順位はどうなると思う？



いずれもN=1,200

残念ながらその期待に反して、2023年、日本は125位まで順位を落としてしまいました。この現実を受け止めて、ジェンダーギャップ解決に取り組んでいく必要があります。

男女でわかれる「116位」の評価。世代間での意識差は？

この順位の評価を、男女別でみるとどうでしょうか。

「もっと上位だと思った」は男性の方が回答率が高く、「もっと下位だと思った」は逆に女性の方が高くなっています。

男女別 順位認識の違い

「ジェンダーギャップ指数」2022年の日本の順位(146か国中116位)について...

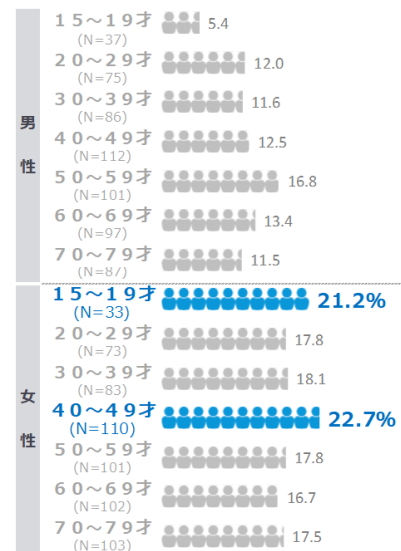
	もっと上位だと思った	妥当な順位だと思った	もっと下位だと思った	無回答
男性 N=595	23.0%	62.9	12.6	1.5
女性 N=605	17.9	62.3	18.7%	1.2

「もっと下位だと思った」の回答率を、男女それぞれ年代別でみると、女性の15-19歳と40-49歳が2割を超えています。

40代女性は、子育てと仕事の両面で考えることの多い年代であり、かつ昭和から平成へと時代・価値観・ジェンダー意識が変わっていく時代を青年期に経験しています。

ちょうどその人たちの子どもの世代が15-19歳くらいと考えると、ジェンダー意識の影響を母親から娘へと受けている可能性もあるかもしれませんね。

「もっと下位だと思った」男女・年代別回答率



日本の女性の精神的・身体的安全の解決・改善が急務。

N=1,200

では、日本のジェンダーギャップは、どんな点に課題がありそうでしょうか。

ジェンダーギャップに関する項目で、「日本が世界に比べて遅れていると思うもの」を聞いたところ、1位は「家事・育児などの家庭での役割分担」、2位～5位は「女性の議員数増加など、女性の社会参画の機会と経済格差が上位となっています。

順位	世界と比べて日本が遅れているもの（複数回答）	
1位	家事・育児などの家庭での役割分担の平等化	54.3%
2位	女性の議員数増加など政治への参加比率向上	51.7%
3位	会社など組織内で決定権を持つ役職（役員・管理職など）の女性比率の向上	51.1%
4位	男女間の就労機会の格差解消	45.9%
5位	男女間の賃金格差の解消	45.3%

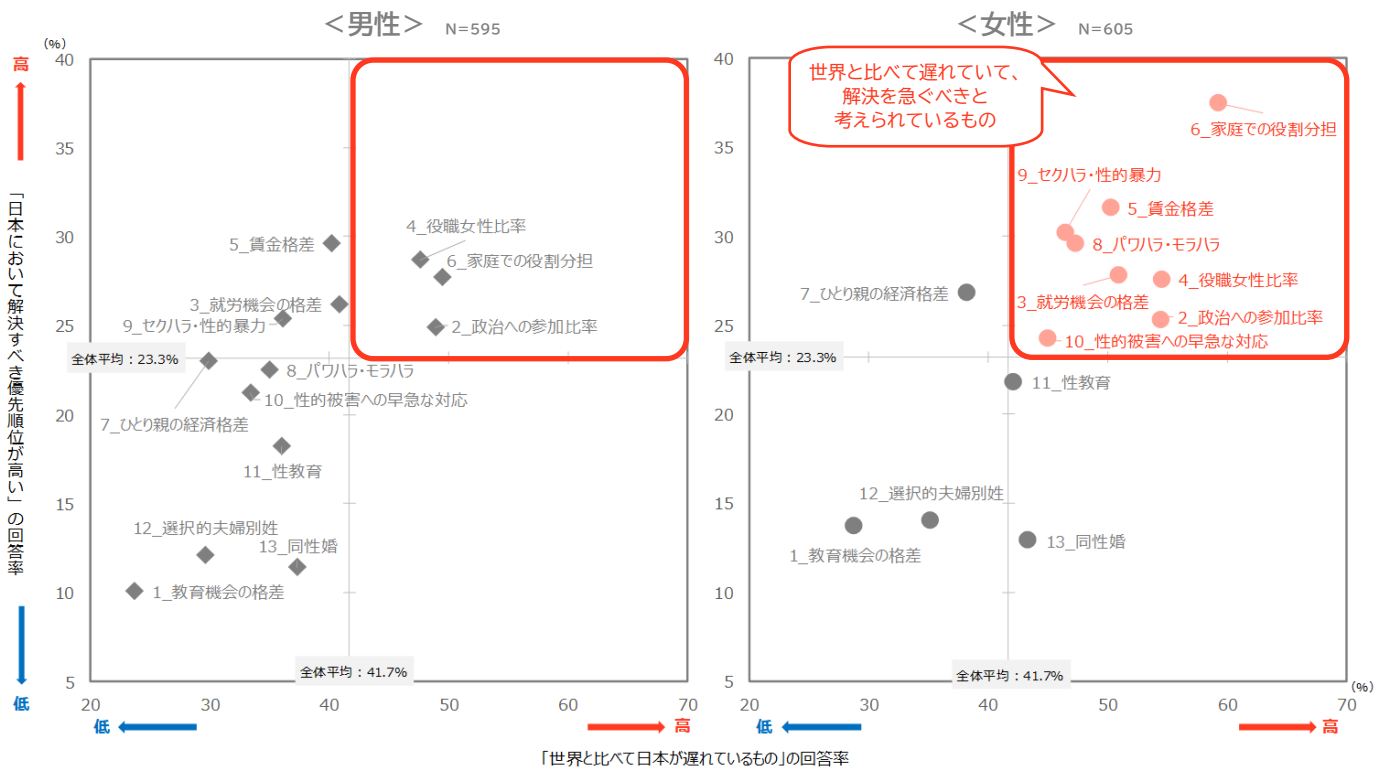
男女での課題意識の違いはあるでしょうか？

下の図は、ジェンダーに関する課題項目を「①日本が世界と比べて遅れているもの」「②日本において解決すべき優先順位の高いもの」別に挙げてもらい、男女別に見てみたものです。

図の右上に入るものは、①②ともに、全体での平均回答率を上回るもので、「解決を急ぐべき項目」とみることができます。ここに入っている項目は、女性の方が多く、男性は3つのみと、意識の大きな違いがみられます。

また、女性の回答傾向をみると、「家庭での役割分担」が特に高いことが特徴的です。そして、パワハラ・モラハラ、セクハラなど精神的・身体的安全、就労・賃金など経済格差に関するものが目立ち、基本的人権に関わる項目が多く含まれています。みなさんは、このデータを見て、どのように感じましたか？こうした意識は、誰かが変えてくれるものではなく、私たち一人ひとりが、性別を問わず「自分の」「身近な」ところから行動を起こしていくことが大事ではないでしょうか。ジェンダー課題の改善・解決に向けて、あなたは、さっそく今日から何ができそうでしょうか？

ジェンダー課題意識の男女差（日本が遅れているもの×解決の優先順位が高いもの、いずれも複数回答）



<項目詳細>

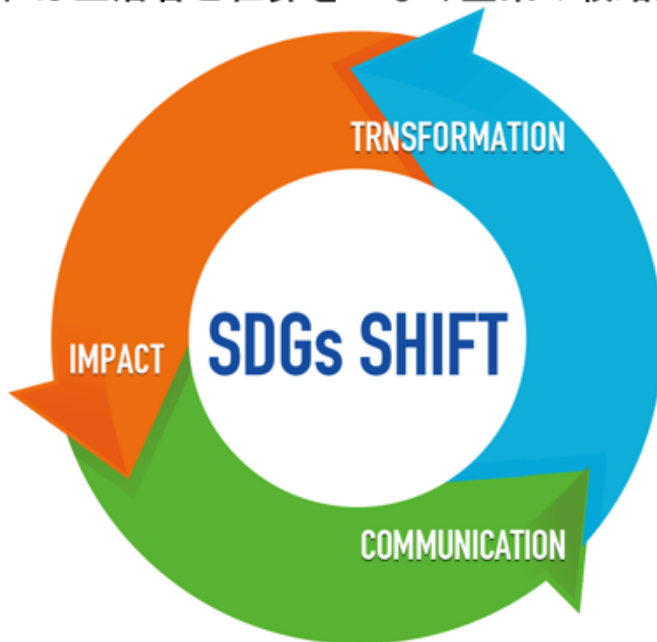
1. 高等教育(大学など)の女性の教育機会の格差解消
2. 女性の議員数増加など政治への参加比率向上
3. 男女間の就労機会の格差解消
4. 会社など組織内で決定権を持つ役職(役員・管理職など)の女性比率の向上
5. 男女間の賃金格差の解消
6. 家事・育児などの家庭での役割分担の平等化
7. ひとり親の生活上の経済格差の解消
8. 男女間のパワーハラスメント・モラルハラスメントの撲滅
9. セクシャルハラスメント・性的暴力の撲滅
10. 性的被害への早急な対応(緊急避妊薬の薬局販売、相談先の充実など)
11. 人権教育としての性教育の実施(人間関係、ジェンダー平等も含む)
12. 選択的夫婦別姓を法的に可能にすること
13. 同性婚を法的に可能にすること

当社では、SDGsの推進支援プログラムを展開しております。
みなさまの社内・組織内での推進に課題をお持ちでしたら、ぜひ一度、ご相談ください！

注目！

NRC SDGs SHIFT PROGRAM

創造力とイノベーションのSDGs
それは生活者と世界をつなぐ企業の戦略的思考



株式会社日本リサーチセンター
Research Innovation Partner
～価値を見い出すパートナーに～

〒130-0022

東京都墨田区江東橋4-26-5

東京トラフィック錦糸町ビル

<https://www.nrc.co.jp>

お問い合わせ窓口:

nrc.sdgs@nrc.co.jp

担当:

マーケティング事業開発部
井嶋(イジマ)

NOS (日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイ：愛称ノス)

8月実施分
特別価格で
ご案内中！

50年以上にわたり、全国15～79歳の方1200名を対象に定期実施している訪問留置調査です。
アンケートモニターやWeb調査ではなく、広く一般生活者に依頼し、「全国の縮図」になるように
データ収集しています。この機会に、御社での活動・施策にぜひご活用ください。

詳しくはこちら ➔ <https://www.nrc.co.jp/solution/nos/index.html>

ご活用例

- ・広報・ニュース媒体に：中立性の高い調査結果を、広報・ニュースとして活用
- ・商品・広告に：全国での、商品や広告の浸透状況の確認
- ・世論調査に：社会や経済の状況について、広く生活者の意見を聴取
- ・年代、エリア比較に：全年代間、各地域ブロックでの反応の違いを確認 など

※P2～3の記事内でご紹介したデータは、NOSを利用し、当社独自で実施した調査です。
引用については、上記担当までご一報ください。

広報物
対応！

調査データを活用した広報物・プレスリリース資料の作成もご相談ください！
編集・制作チームと連携し、一括で対応いたします。

編集・制作実績はこちら ➔ <https://www.nrc.co.jp/solution/creative/index.html>